

NakaNishi ESD JOURNAL

Creation
Quest
Friendship



Member of
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization
UNESCO
Associated
Schools

2023年 8月 29日 発行 第4号
長野県中野西高等学校 ユネスコ委員会

ESDとは？

Education for Sustainable Development / 持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

6/28 (水) ニワトリ解体ワークショップ@やよい農園

このワークショップも今年で3年目。私たちは普段あまりにも当たり前「お肉」を食べているので、それが命のある動物だったと考えることは少ないと思います。自分の手で動物を肉にする過程で、何を考え、感じるのか、12人の生徒と江川先生が参加しました。

①ニワトリを捕まえる



小屋を逃げ回るニワトリ。
でもビビっているのは生徒のほう。

②カッターで頸動脈を切る



(命を)「いただきます」と言ってから
ひと思いに切る。でもそれが難しい。

③血を抜く



手の中で感じる
鼓動がだんだん
弱くなっていく。
思ったほど血は
出ない。

④羽を抜く



全然抜けない。
でも全部抜くと見たことのあるカタチに。

⑤腹を切って内臓を出す



切っているうちに、いつの間にかニワトリ
じゃなくてトリニクと認識している。

⑥肉に切り分ける



もう完全にトリニク。各自持って帰り、事前
に考案したレシピで調理。

おまけ：砂肝



本当に中に砂が
入っている。
鳥には歯がないか
ら、砂の入った臓

器で食べたものをすりつぶす。だから筋
肉が発達してコリコリ食感なのだ。

最後に

世界人口が増加する中、深刻な食糧不足が起きているのに、先進国では食品ロスが深刻化している。私たちはみんな「残さず食べるんだよ」って言われて育ったはず。このワークショップはそんな大事なことを思い出させてくれる機会でもありました。

「生きることは食べること、食べることは生きること」

やよい農園・滝澤さんより